

かほうちくようき  
**全訳家蜂蓄養記** 古典に学ぶニホンミツバチ養蜂

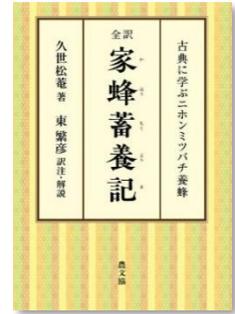
📖 内容紹介

『家蜂蓄養記』は、江戸時代後期の寛政3(1791)年に紀伊の医家・草本家の久世松菴(くぜしょうあん)が著した日本最古の養蜂書である。漢文で書かれており、養蜂の端々に儒学を結びつけて論じている。その内容は、今日においても十分通用するものであるが版本にはならず、『古事類苑』に収録されるまで、日の目を見ることはなかったという。

本書は、第一部で『家蜂蓄養記』の現代語訳と江戸期の養蜂技術やミツバチの生態の詳細な解説、第二部で日本における養蜂の歴史、第三部で原文・書き下し文・語釈を掲載。

訳注者の東氏は、文献などから、江戸期の養蜂が熊野を中心に発展・展開したのは、秀吉の朝鮮出兵を契機に、ミツバチと養蜂技術者が朝鮮半島から熊野へ連れて来られたからだと考えている。これは本書で初めて提起される説であり、今後の研究が期待される。

久世 松菴／著  
東 繁彦／訳注・解説  
農山漁村文化協会  
2023.12  
271p 21cm  
646.9/ネ3Z  
2024.1.26 受入  
定価 3,800 円＋税



目次

- 緒論『家蜂蓄養記』とは何か  
第一部 『家蜂蓄養記』とその世界－現代語訳と解説－  
第一章 序文 第二章 女王蜂 第三章 王台 第四章 巣箱  
第五章 置き台 第六章 置き場所 第七章 闘争 第八章 分蜂  
第九章 雄蜂 第十章 巣虫 第十一章 採蜜  
補論 『家蜂蓄養記』をめぐる古典籍とその関係  
第二部 日本養蜂史再考  
第一章 熊野蜜  
第二章 文献からたどるニホンミツバチの起源  
第三章 『日本書紀』をめぐって  
第四章 問い直されるニホンミツバチの起源  
第三部 定本『家蜂蓄養記』－原文・書き下し文・語釈－  
付録 一、王禹偁『小畜集』「紀蜂」  
二、江戸期におけるミツバチの導入経路と飼養地  
三、関連年表  
あとがきにかえて 蜂と漢文と私  
参考文献一覧/索引

📖 関連書籍

『養蜂大全』  
松本 文男／著 誠文堂新光社 2019.4

🗨️ 図書館員のつぶやき

ミツバチ愛が感じられる一冊。  
いつか「養蜂家」になりたい。



あかがね  
**銅の軍神**  
天皇誤導事件と新田義貞像  
盗難の点と線

智本 光隆／著 郁朋社  
2023.11 307p 19cm  
K936/C45/ネ 3Y  
2023.12.5 受入  
定価 1,500 円＋税

📖 内容紹介

主人公は鎌倉で芸術を学ぶ女子大学院生。彼女は、ある日「新田義貞像盗難」の新聞記事を目にし、新聞記者となった中学時代の同級生と再会、物語は進む。

群馬県立図書館で昭和9年前後の出来事を調べるシーンのほか、群馬会館、桐生織物会館など、随所に群馬の景色が描かれている。

実際の出来事「新田義貞像盗難事件」と「天皇誤導事件」を絡めた歴史ミステリー。

🗨️ 図書館員のつぶやき

“ニツチ”ではありませんが、県立図書館が出てくるのでご紹介♡  
「施設の老朽化」とリアルすぎる描写だけ・・・🙄

👤 著者紹介

智本 光隆 (ちもと みつたか)  
1977年、群馬県前橋市生まれ。  
京都精華大学を経て群馬大学社会情報学研究所修士課程修了。研究成果を生かして歴史小説の執筆を開始する。新田氏と南北朝動乱を斬新な切り口で描いた『風花』で、第14回歴史群像大賞優秀賞を受賞。

🔑 <キーワード 豆解説>

📌 新田義貞像盗難事件

平成22年2月19日、太田市の生品神社に設置されていた新田義貞の銅像がなくなっているのを、近くの住民が発見した。銅像は1941年に製造され、1983年に神社境内に移設、住民に親しまれていた。(上毛新聞 2010.2.20 ほか)

📌 天皇誤導事件

昭和9年に群馬県などで行われた陸軍特別大演習の後、県内各地を昭和天皇が行幸された際、桐生市内で先導車が道を間違えた事件。先導の任にあった本田警部が帯剣自殺を企図した(未遂)こともあって、同情を集めるとともに世人の注目を浴びた。当時は、鹵簿(ろぼ)誤導事件と称された。鹵簿とは行幸の行列のことを指す。

📖 参考文献 『群馬県史 通史編7』 『群馬県警察史 第2巻』 『群馬風土記』第15巻第4号通巻67号 2001年秋季号 『上州路』第18巻6月号通巻206号 1991.6 ほか



本紙は、県立図書館が新たに収蔵した資料をご紹介します。県立図書館は、小説や実用書などの一般的な資料よりも、専門的な資料や通常の出版物ルートに乗らない郷土資料など、特定の利用者層や限定的なニーズを満たすような資料を収集する役割を担っています。“ニツチ”＝“すき間”というタイトルにその意図を込めました。

【群馬県立図書館】 〒371-0017 前橋市日吉町一丁目9-1 電話：027-231-3008

